平成２１年５月２７日
第九管区海上保安本部

問い合わせ先
第九管区海上保安本部海洋情報部
海洋調査課長　山内　明彦

寺泊中央海水浴場付近の流れの調査について

＊海浜域・河口域の事故根絶を目指して＊

第九管区海上保安本部では、管内の海浜域・河口域での水難事故を未然に防ぐため、６月１５日、１６日に寺泊港付近の流況調査（離岸流調査）を実施します。

調 査 概 要

１　海　　域

寺泊中央海水浴場付近（資料１）

２　調査方法

寺泊中央海水浴場付近の沿岸に沿って、流れの状況を把握するために、ＤＧＰＳ漂流ブイによる漂流軌跡調査及びシーマーカーと呼ばれる海難救助用の染料を用いた流況調査により離岸流等の流れを観測します（資料２）。

この調査結果につきましては、第九管区海上保安本部海洋情報部ホームページに掲載します。

アドレスは
↓
http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN9/ripcurrent/ripcurrent.htm

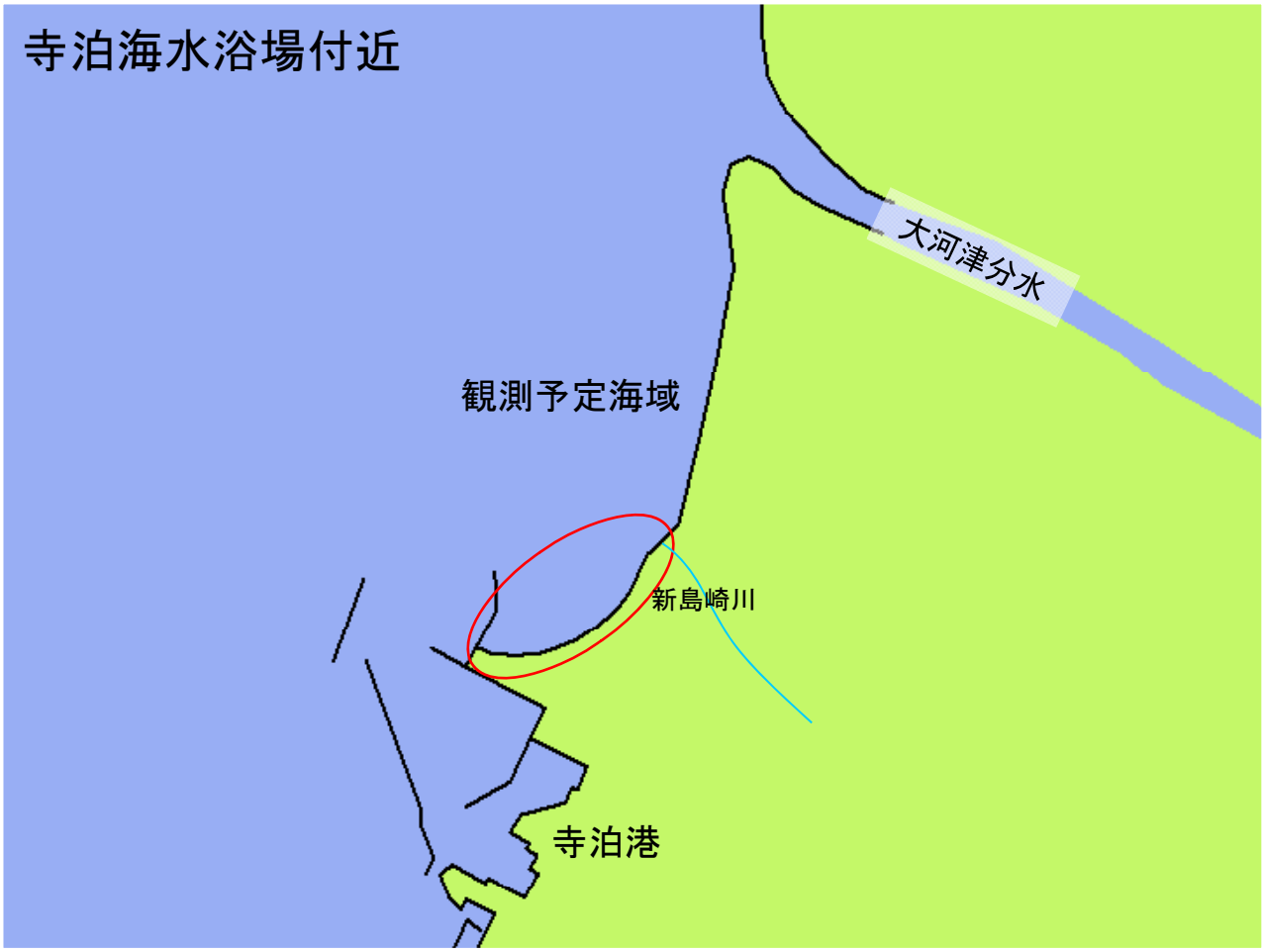
＊　海水浴で離岸流により流されたら

- **あわてず、落ち着くこと。**
- **岸に向かわずに、岸と平行に泳ぐことで離岸流から抜けることができます。**
- **離岸流から抜けたら岸に向かって泳ぎます（岸へ向かう流れ（向岸流）に乗れるかも知れません）。**

詳しくは、上記ホームページをご覧ください。

観測予定海域

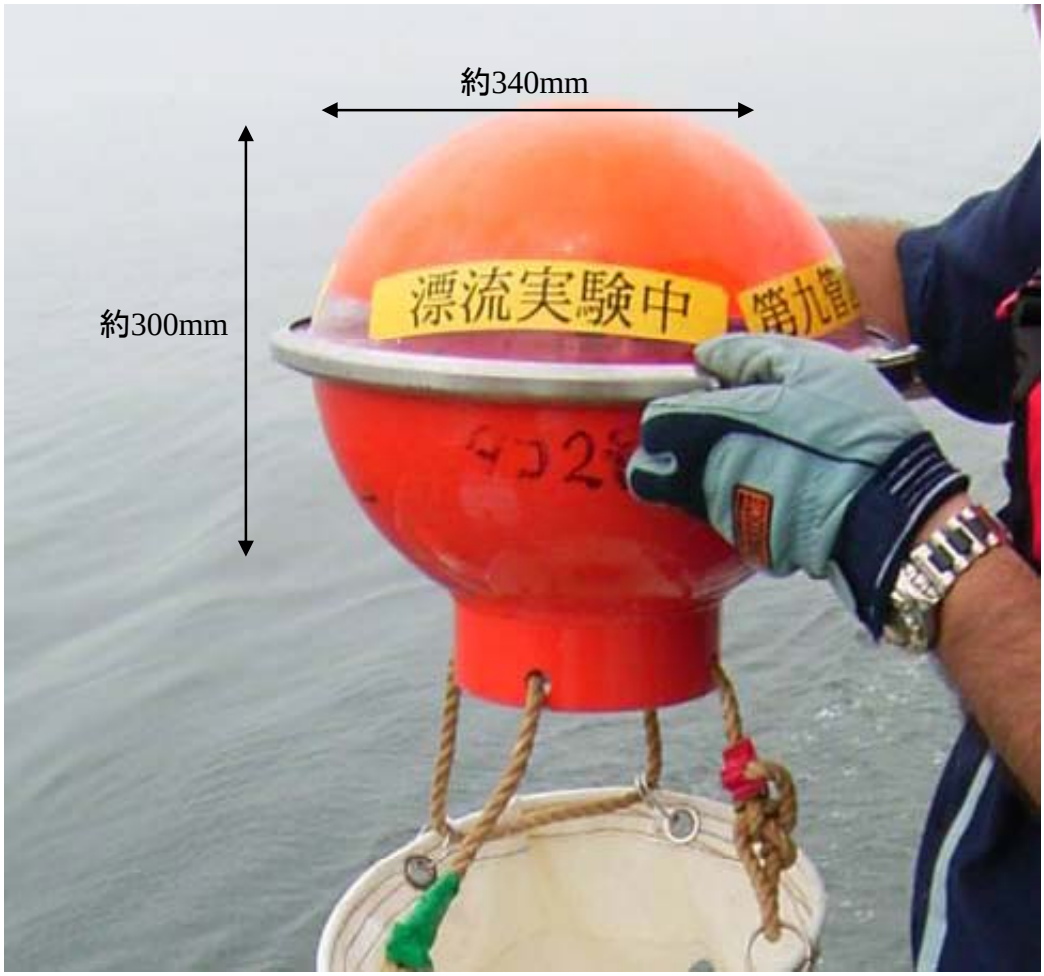
資料1



1998･5撮影

流況調査の方法　　資料2

シーマーカーによる流況調査



DGPS漂流ブイ

日時：平成21年5月20日

場所：寺泊中央海水浴場

内容：寺泊中央海水浴場にて漂流ブイ及びシーマーカーを利用した流況調査（離岸流調査）を実施し、その様子を新潟航空基地所属MH904により上空から撮影した。